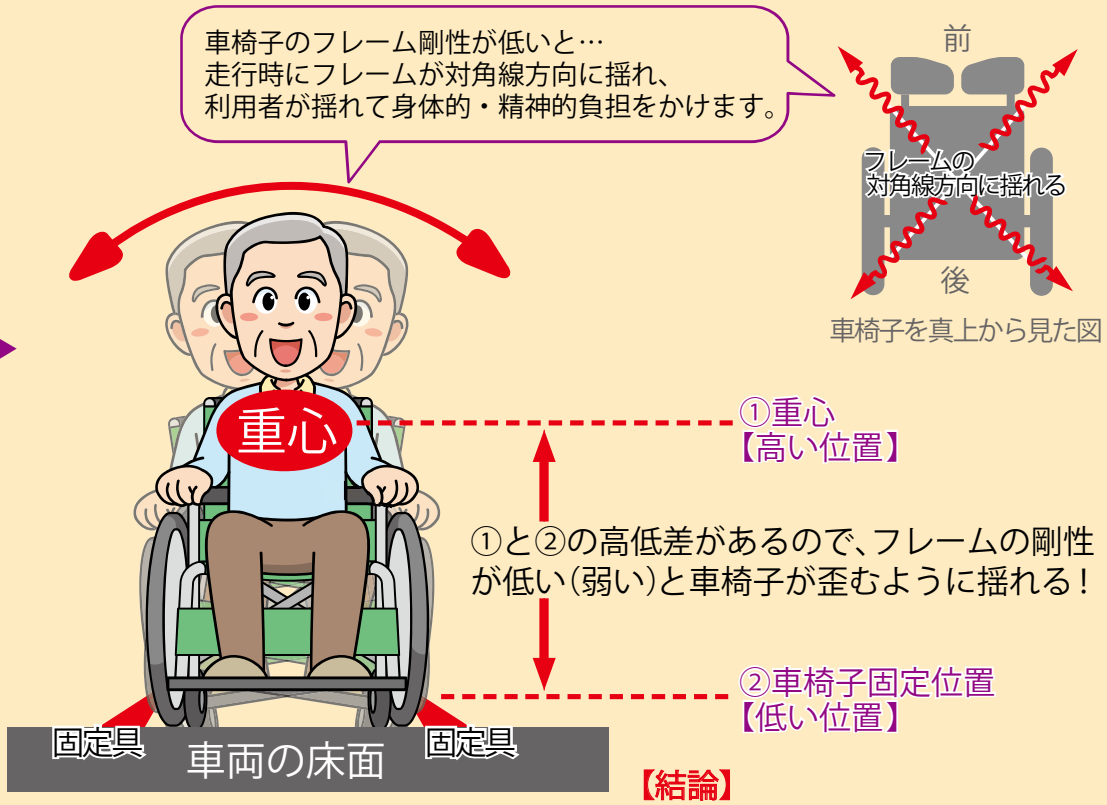
車椅子の性能は、収入に直結します

理由

車椅子は「フレーム剛性」が命です！

車椅子を車両に載せて走ると車椅子のフレームが揺れ、利用者に負担をかけます。車椅子は車両の床に固定しますが、利用者の「重心」は頭付近にあるため、フレームがゆがむのは当然です【下図参照】。走行中の車椅子の状況をわかりやすく例えると、電車に乗った人が足首を固定された状態です。足首が固定されたまま電車が動いたら、上半身が揺れて倒れますよね。しかし、人の身体が鋼鉄だったら？ 鋼鉄は固いので足首も上半身も固定されたまま揺れません。同じことが車椅子にもいえます。車椅子のフレーム剛（車椅子の骨格）が鋼鉄のように強ければ揺れないのです。フレーム剛性が高いと利用者の身体は揺れずに楽に座れるのです。

福祉タクシーで走行中の利用者の状況



【結論】
揺れない ＝ 利用者は安楽 ＝ 受注増

多くの会員が弊社の機材を採用しています

実績

弊社は、福祉タクシー業務という特殊な使用環境に熟知しており、揺れない・故障しない車椅子を厳選して提供しています。重要なのは「車載」という過酷な用途に耐える車椅子を選ぶことです。価格だけを考え、安易に低剛性の車椅子を選ぶと、利用者の安心・安楽を損ねるばかりか、車椅子のフレーム変形という重大な故障を起こしかねません。

車椅子等が故障した場合、店舗やインターネットでは長い修理期間がかかります。しかし、弊社は業務に支障がないよう、メーカー直結で即日対応します。

○ リクライニングができたり、分厚いクッションがある車椅子が良い車椅子でしょうか？ 答えはNO。それは健常者の発想です。円背や拘縮がある利用者には、身体を包み込める「背もたれ」と「座面」が必要です。その意味で、リクライニング機能やクッション性は関係ありません。利用者の身体に負担をかけない、快適な背・座面（＝座位）を提供するため、シーティング機能付の車椅子を選択したいものです（p7 参照）。